

2026 年度新入社員意識調査結果報告書

2026 年 5 月

I. アンケート調査の概要

1. 調査目的

本調査は、2026 年度に入社した新入社員の意識調査を行い、社員の定着やエンゲージメント向上に向けた問題点や課題等を把握するものです。

2. 調査期間

2026 年 4 月 1 日（水）～30 日（木）の 30 日間です。

3. 調査対象

当社で実施した新入社員向けセミナーに参加した 69 名を調査対象として抽出しました。

4. 調査方法

セミナー終了後に WEB アンケートを実施しました。

5. 回収結果

回答者数は 69 名です。

6. 本報告書中の記号について

S A …単一回答(Single Answer)の略。選択回答は 1 項目。

M A …複数回答(Multi Answer)の略。3 項目まで選択。

N …回答先数 (Number) をあらわす。「N = 100」は回答先数が 100 先。

※ 複数回答の場合は合計値が 100%にならない場合があります。

※ アンケート結果の数値は小数点第 2 位を四捨五入しており、単一回答であっても合計が 100%にならない場合があります。

Ⅱ. アンケート調査結果

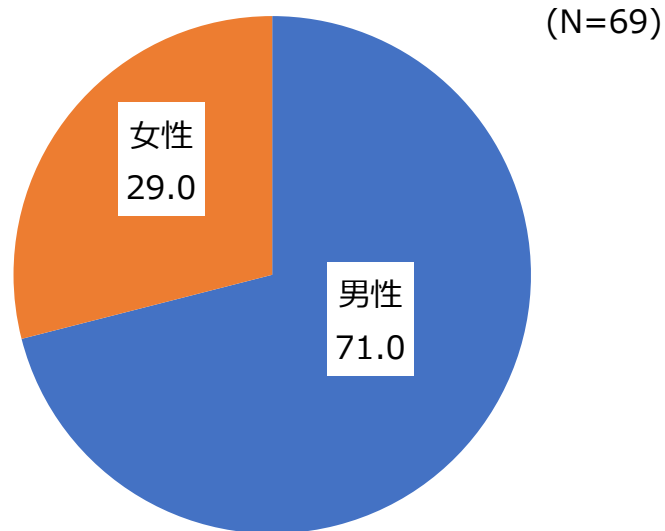
概要

- 就職する際に重視することとして、「会社の雰囲気・イメージ」や「業種・事業の内容への興味・関心」が高くなっている。
- 就職に関する情報収集する手段として効果があったものは「学校の先生からの情報」が最も高く、「会社のホームページ」や「学校就職部・課からの資料」が上位となっている。
- 社会人になって不安に感じることは「上司・先輩・同僚との人間関係・コミュニケーション」が最も多く回答されている。また、会社・職場に期待することでは「人間関係が良好な職場」が最も多く、職場の先輩や上司・同僚に期待することでは「積極的なコミュニケーション」や「話をよく聞き、相談できる雰囲気」が上位となっており、社内でのコミュニケーションが極めて重要視されている様子が窺われる。
- 職場で指導してほしいことは、「仕事の基本と進め方」、「専門的な業務知識」と業務に関する項目が上位となっているが、「良好なコミュニケーションの取り方」へのニーズも高い。
- 将来就きたい役職としては「一般社員（役職につきたくない）」が最も多い。また、今後のキャリアプランでは「就職した会社で定年まで働きたい」が最も多かった。一方、「条件や状況次第では転職を考えたい」と「いずれは独立または起業したい」をあわせた回答は 23.2%で、昨年と比べると 13.7 ポイント低下している。
- 山梨県外での就職希望では「希望していない」が 7 割を占めており、山梨県内での就職希望の理由としては「希望する職種の会社があった」、「生活する環境として山梨県が好き」が上位を占めた。
- どのような会社なら頑張って働くことができるかでは、「福利厚生が充実している会社」、どのような職場なら頑張って働くことができるかでは、「明るい職場」が最も多い回答であった。
- 理想的な指導方法では「仕事に取り組むモチベーションを上げる指導」、不適切と感じる指導方法では「理不尽、意味不明な叱責・指導」、「大声や怒鳴り声での指導」が上位となっている。
- 上司や先輩・同僚からかけてもらいたい言葉では「ありがとう」、上司や先輩・同僚にやってほしくない行動は「質問に対する無視」が最も多い回答であった。

問1 性別 (SA)

・性別は、「男性」(71.0%)、「女性」(29.0%)となっています。

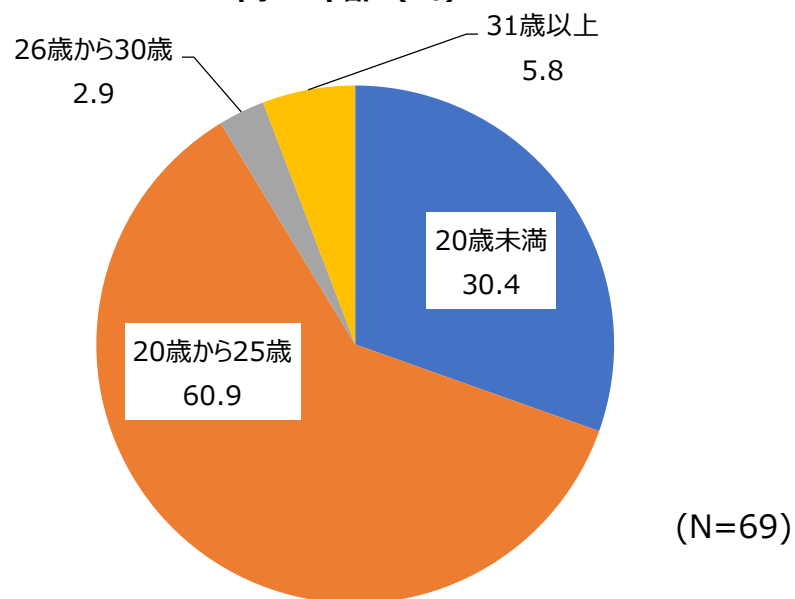
問1 性別 (%)



問2 年代 (SA)

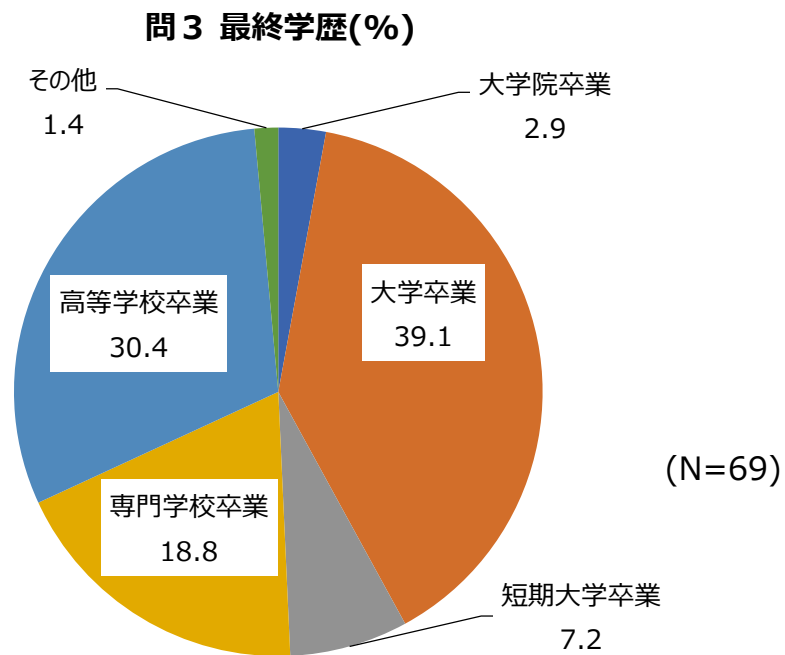
・年代は「20歳未満」が30.4%、「20歳から25歳」が60.9%、「26歳から30歳」が2.9%、「31歳以上」が5.8%となっています。

問2 年齢 (%)



問3 最終学歴 (SA)

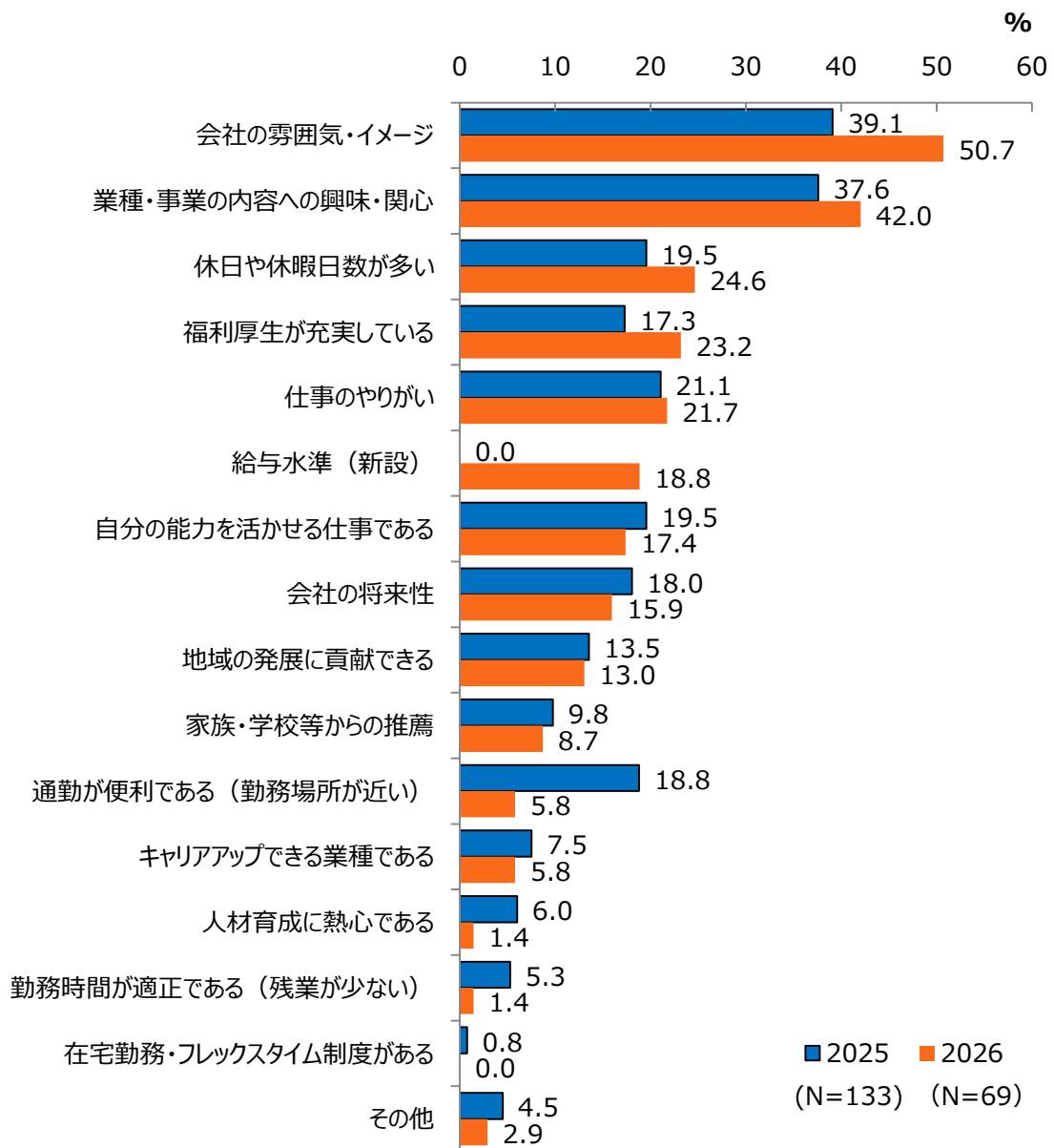
- 最終学歴は、「大学卒業」が 39.1%、「高等学校卒業」が 30.4%、「専門学校卒業」が 18.8%、「短期大学卒業」が 7.2%、「大学院卒業」が 2.9%となっています。



問4 就職する際、重視したことについて (MA)

・就職する際に重視したことについて、最も多かった回答は「会社の雰囲気・イメージ」が50.7%で、次いで「業種・事業の内容への興味・関心」が42.0%となっています。また、「休日や休暇日数が多い」(24.6%)、「福利厚生が充実している」(23.2%)が昨年より比率を伸ばし、新設した「給与水準」(18.8%)も上位となるなど、待遇面に関する項目が支持を集めています。

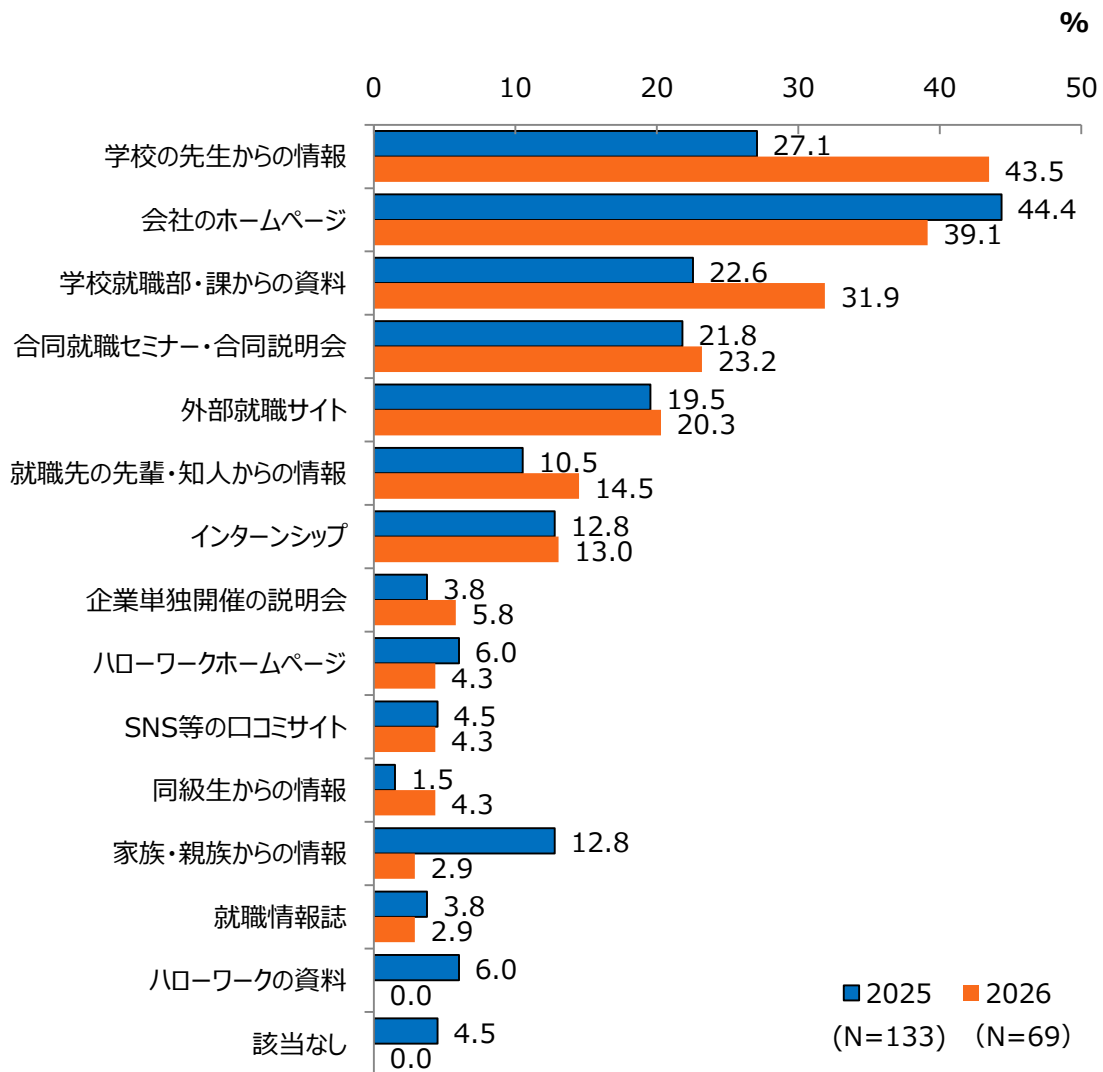
問4 就職する際、重視したこと



問5 就職に関する情報収集で効果があったもの (MA)

・就職に関する情報収集で効果があったものについて、最も多かった回答は、「学校の先生からの情報」が43.5%、次いで「会社のホームページ」が39.1%、「学校就職部・課からの資料」が31.9%となっています。

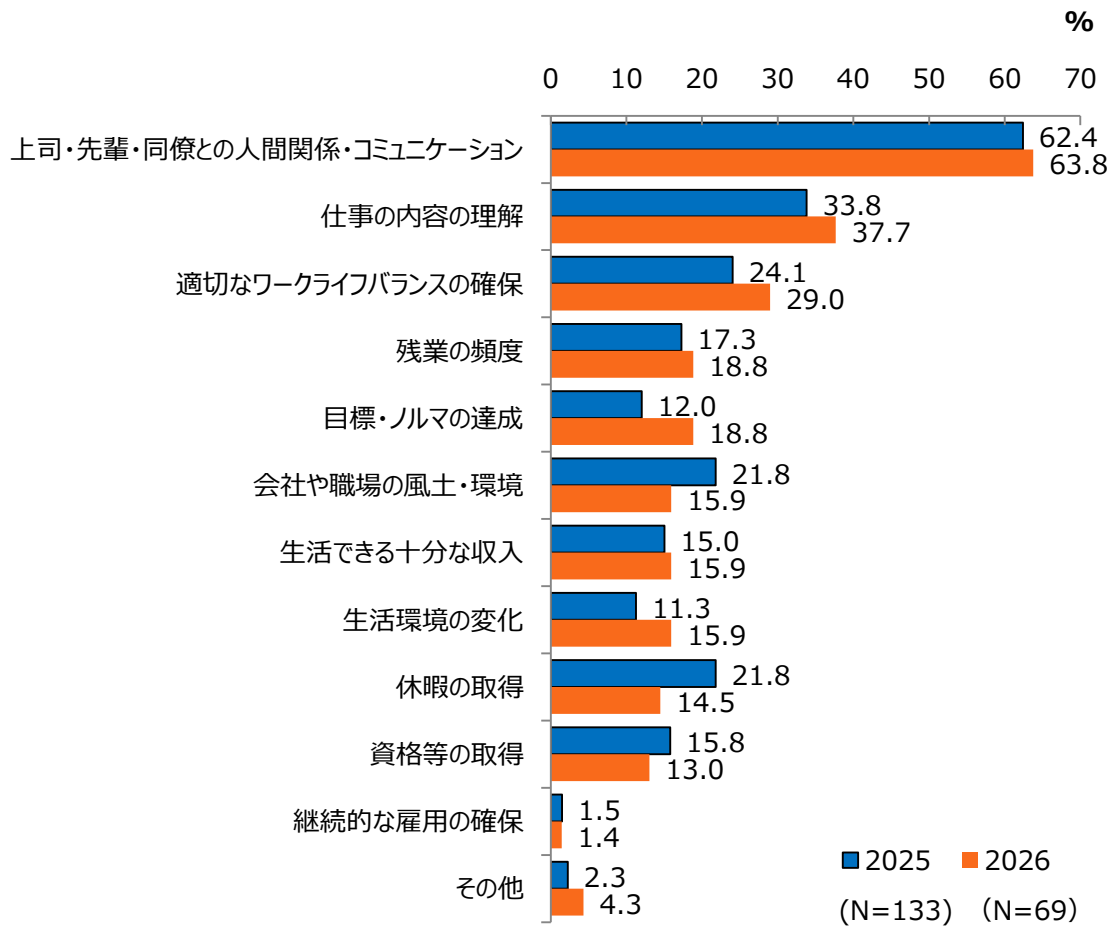
問5 就職に関する情報収集で効果があったもの



問6 社会人になって不安に感じること (MA)

- ・社会人になって不安に感じることに、最も多かった回答は「上司・先輩・同僚との人間関係・コミュニケーション」が63.8%で、次いで「仕事の内容の理解」が37.7%、「適切なワークライフバランスの確保」が29.0%となっています。

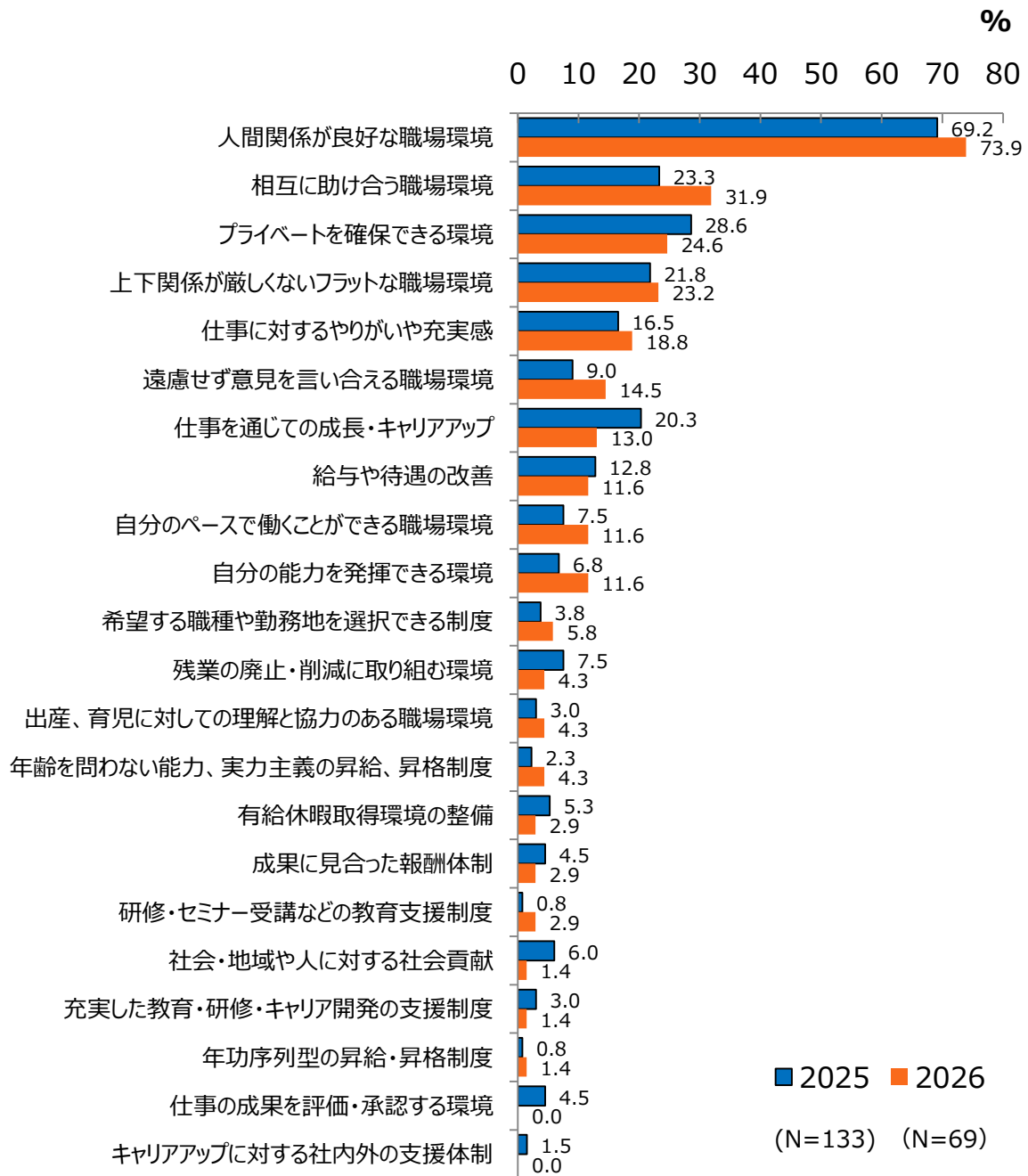
問6 社会人になって不安に感じること



問7 会社・職場に期待すること (MA)

- ・会社・職場に期待することについて、最も多かった回答は「人間関係が良好な職場環境」が73.9%で、次いで「相互に助け合う職場環境」が31.9%、「プライベートを確保できる環境」が24.6%となっています。

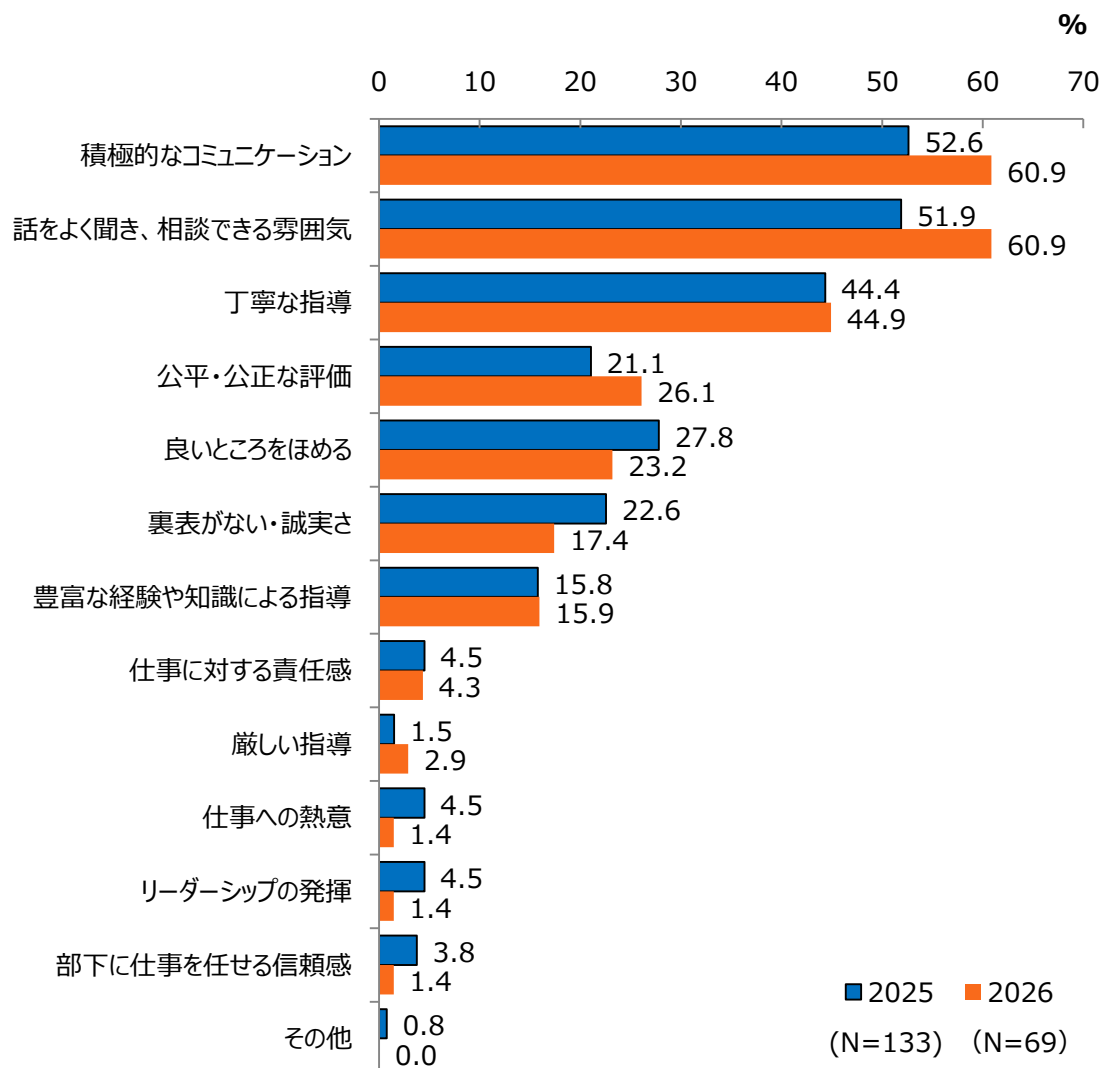
問7 会社・職場に期待すること



問8 職場の先輩や上司・同僚に期待すること (MA)

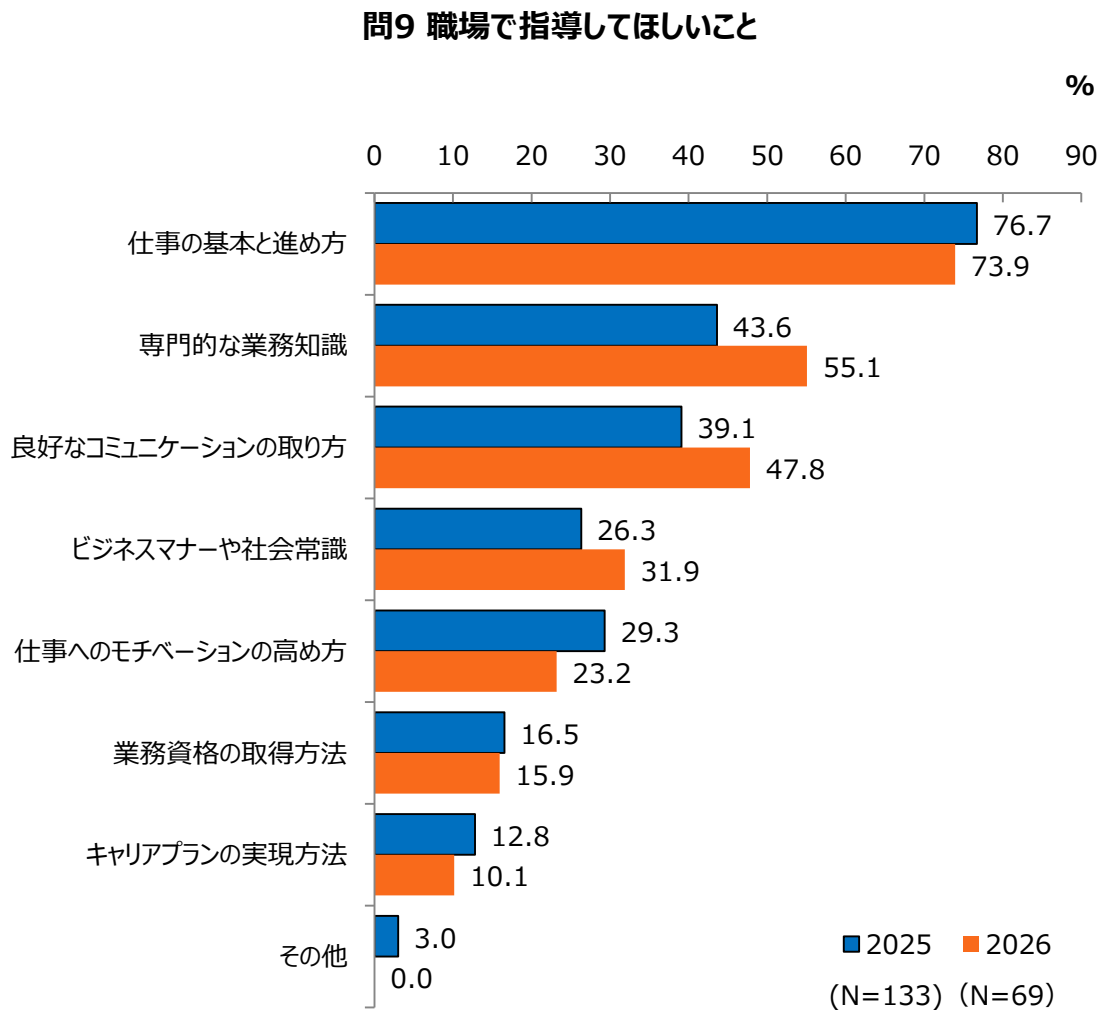
- ・職場の先輩や上司・同僚に期待することについて、最も多かった回答は「積極的なコミュニケーション」・「話をよく聞き、相談できる雰囲気」(同率)が60.9%、「丁寧な指導」が44.9%となっています。

問8 職場の先輩や上司・同僚に期待すること



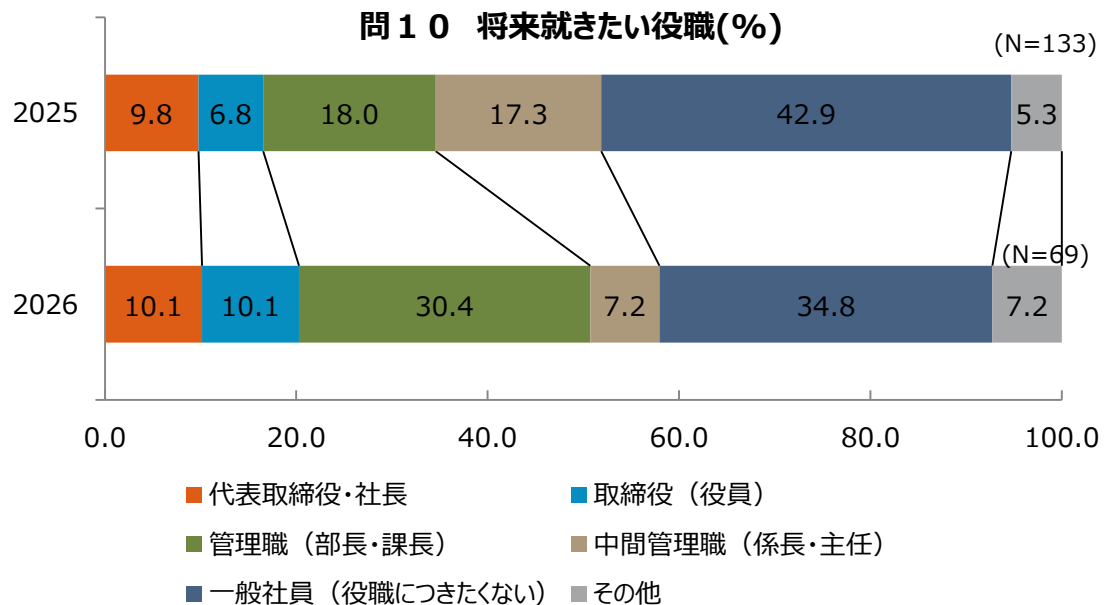
問9 職場で指導してほしいこと (MA)

- ・職場で指導してほしいことについて、最も多かった回答は「仕事の基本と進め方」が73.9%で、次いで「専門的な業務知識」が55.1%、「良好なコミュニケーションの取り方」が47.8%となっています。



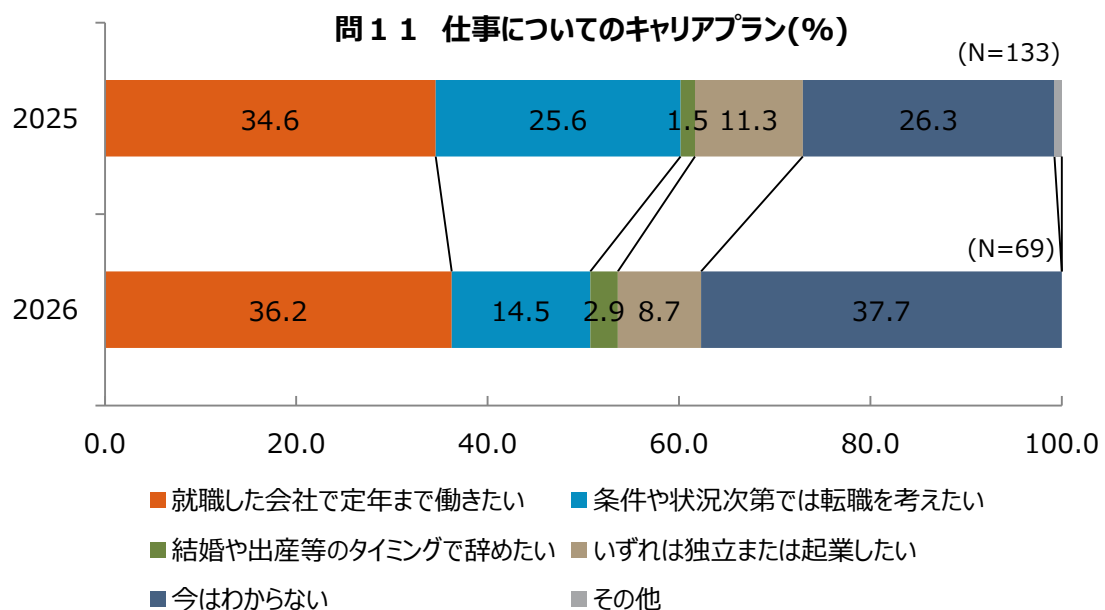
問10 将来就きたい役職 (SA)

・将来就きたい役職について、最も多かった回答は「一般社員（役職につきたくない）」が 34.8%、次いで「管理職（部長・課長）」が 30.4%、「代表取締役・社長」・「取締役（役員）」（同率）が 10.1%となっています。



問11 仕事についてのキャリアプラン (SA)

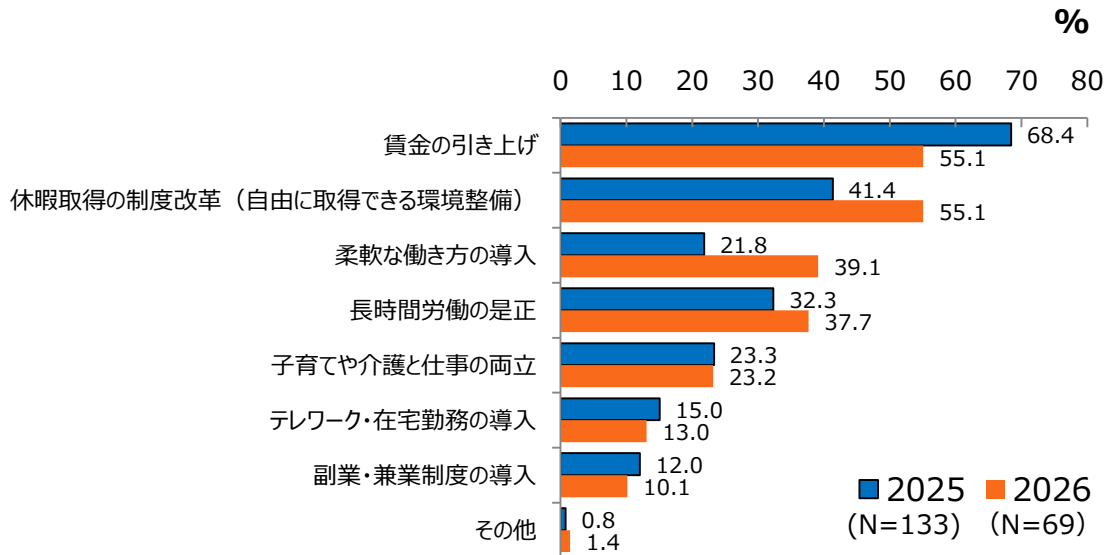
・今後の仕事についてのキャリアプランでは、最も多かった回答は「就職した会社で定年まで働きたい」が 36.2%で、次いで「条件や状況次第では転職を考えたい」が 14.5%、「いずれは独立または起業したい」が 8.7%となっています。なお、「今はわからない」は 37.7%となっています。



問12 働き方改革について (MA)

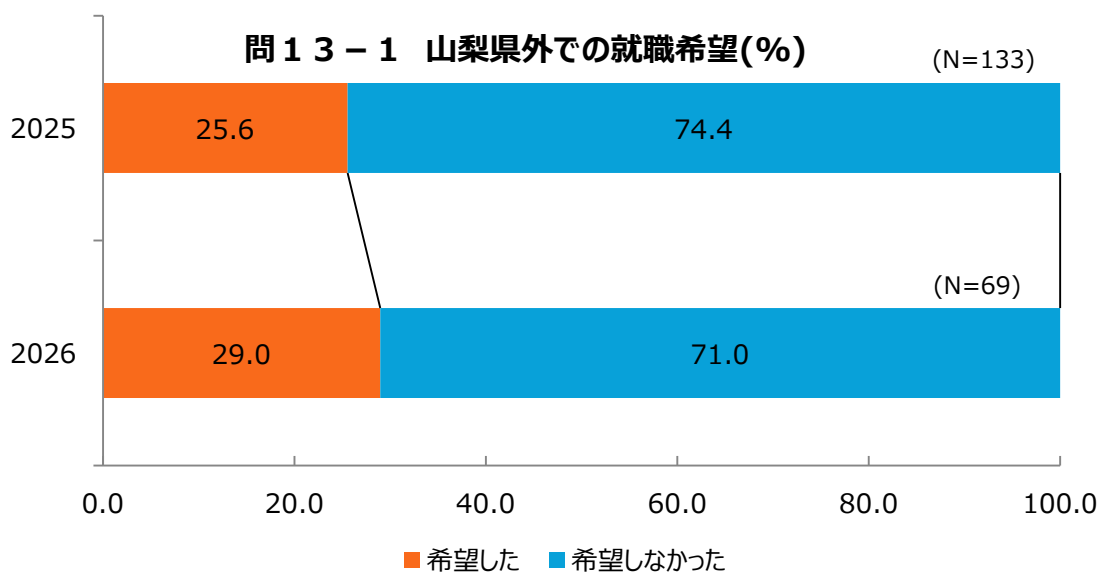
・希望する働き方改革について、最も多かった回答は「賃金の引き上げ」・「休暇取得の制度改革（自由に取得できる環境整備）」（同率）の55.1%で、次いで「柔軟な働き方の導入」が39.1%となっています。

問12 働き方改革について



問13-1 山梨県外での就職希望について (SA)

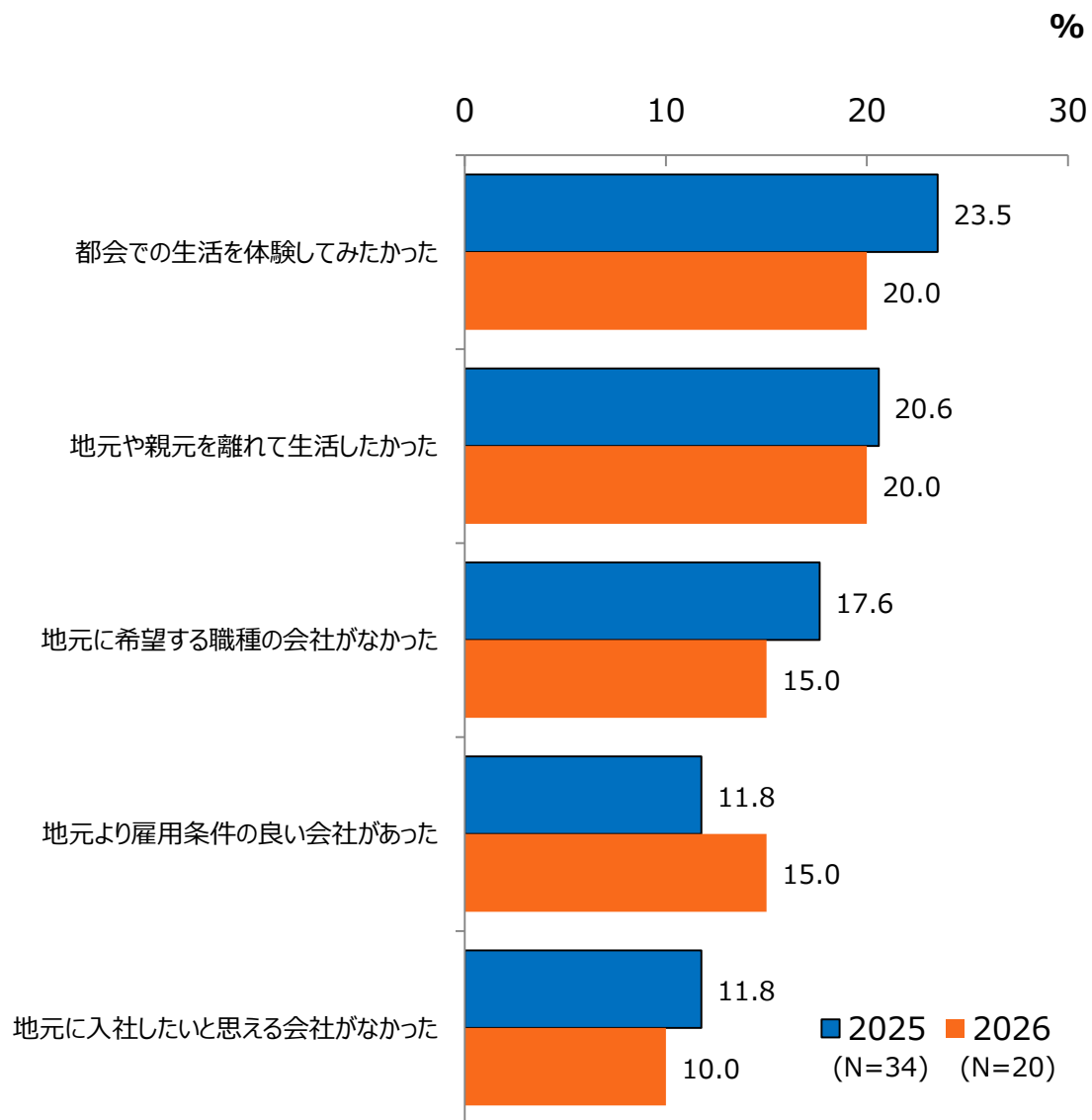
・山梨県外での就職希望について、「希望した」が29.0%、「希望していない」が71.0%となっています。



問13-2 山梨県外での就職希望理由について (MA)

- ・問13-1 山梨県外での就職希望で「希望した」と回答した方に、山梨県外での就職希望理由を聞いたところ、最も多かった回答は「都会での生活を体験してみたかった」・「地元や親元を離れて生活したかった」(同率)が20.0%で、次いで「地元で希望する職種の会社があった」・「地元より雇用条件の良い会社があった」(同率)が15.0%となっています。

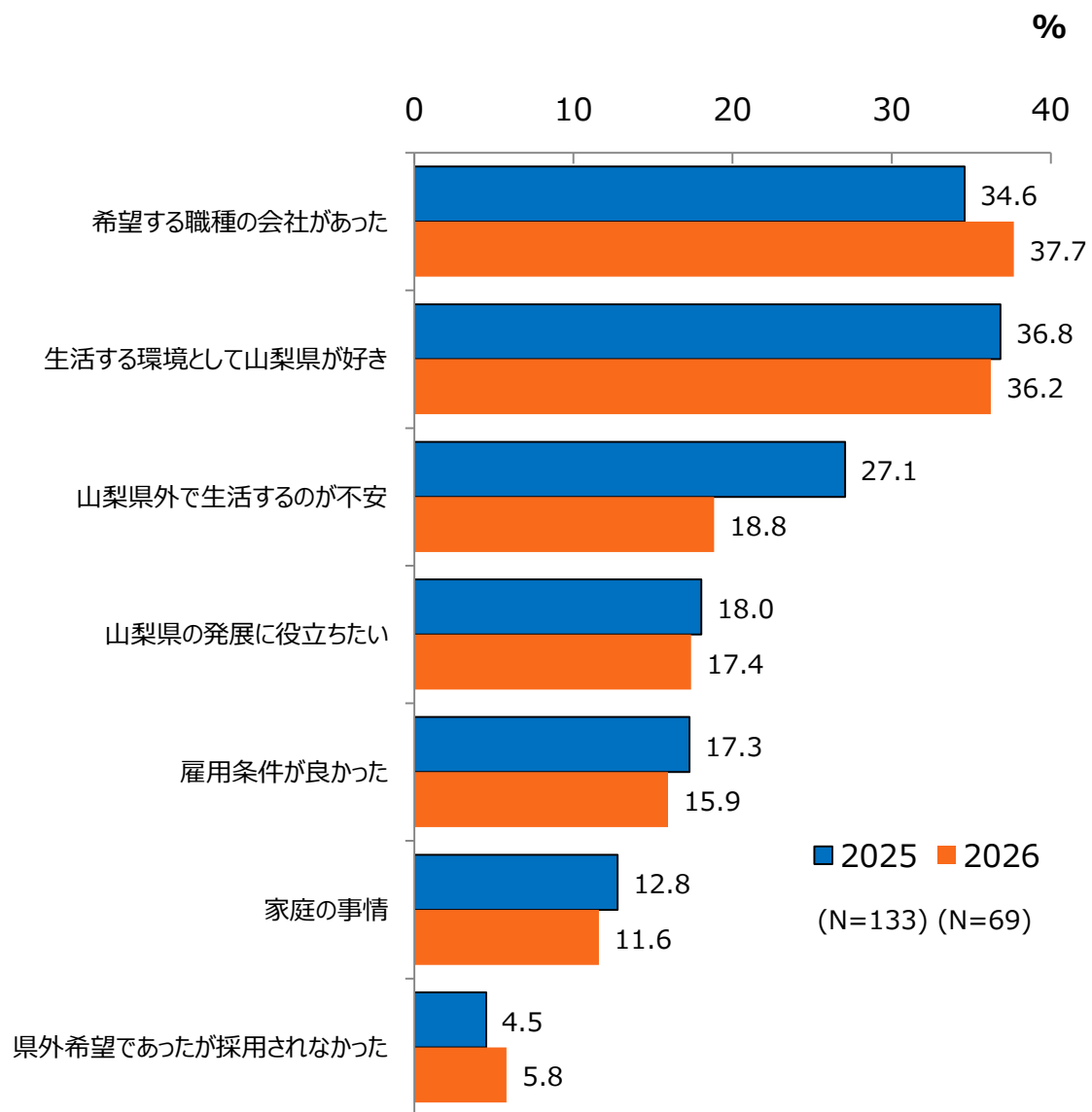
問13-2山梨県外での就職希望理由



問13-3 山梨県内での就職希望理由 (MA)

・山梨県内での就職希望理由について、最も多かった回答は「希望する職種の会社があった」が37.7%で、次いで、「生活する環境として山梨県が好き」が36.2%、「山梨県外で生活するのが不安」が18.8%となっています。

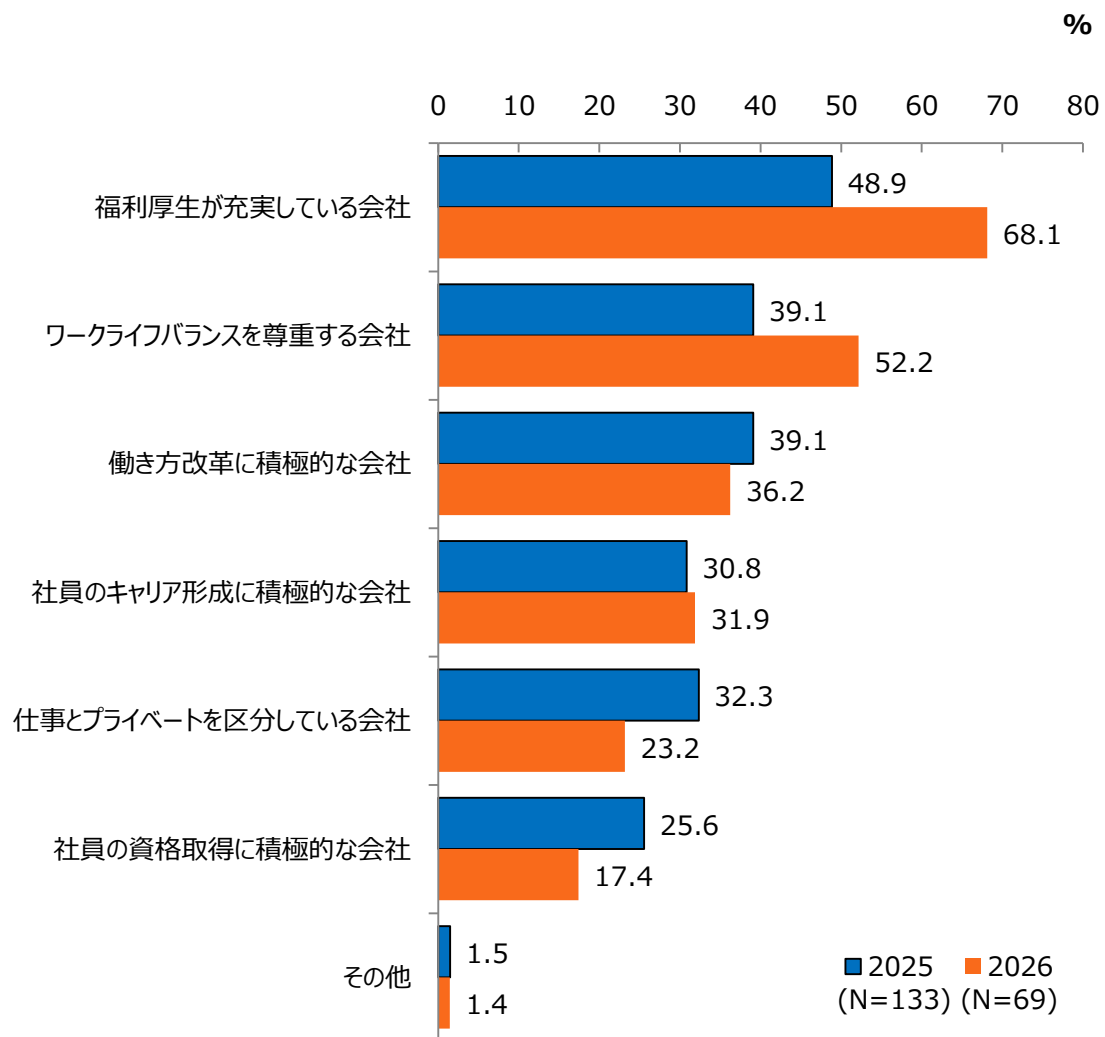
問13-3山梨県内での就職希望理由



問14 どのような会社なら頑張ることができるか (MA)

・どのような会社なら頑張ることができるかについて、最も多かった回答は「福利厚生が充実している会社」が68.1%で、次いで「ワークライフバランスを尊重する会社」が52.2%、「働き方改革に積極的な会社」が36.2%となっています。

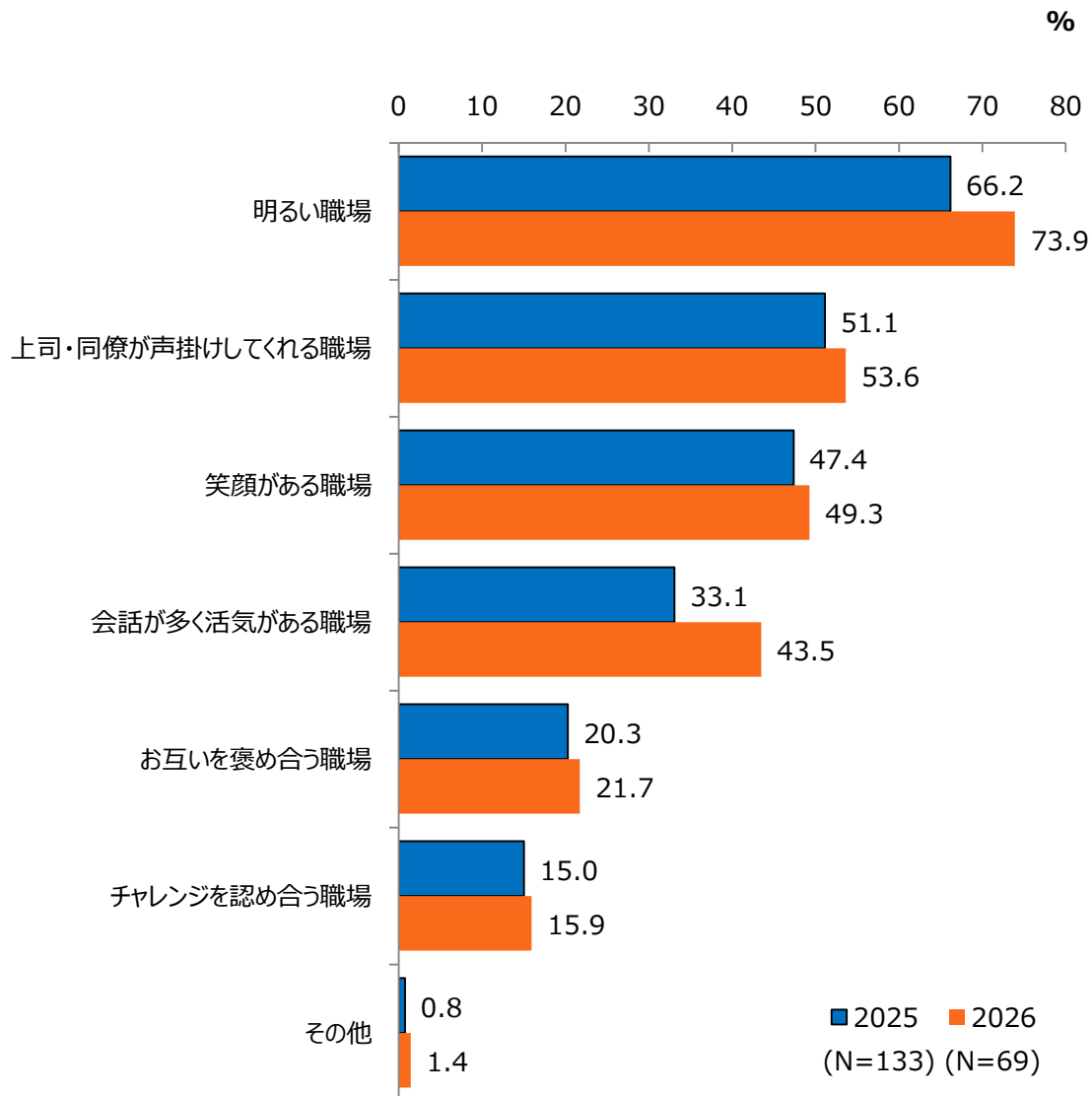
問14 どのような会社なら頑張ることができるか



問15 どのような職場なら頑張ることができるか (MA)

・どのような職場なら頑張ることができるかについて、最も多かった回答は「明るい職場」が73.9%で、次いで「上司・同僚が声掛けしてくれる会社」が53.6%、「笑顔がある職場」が49.3%となっています。

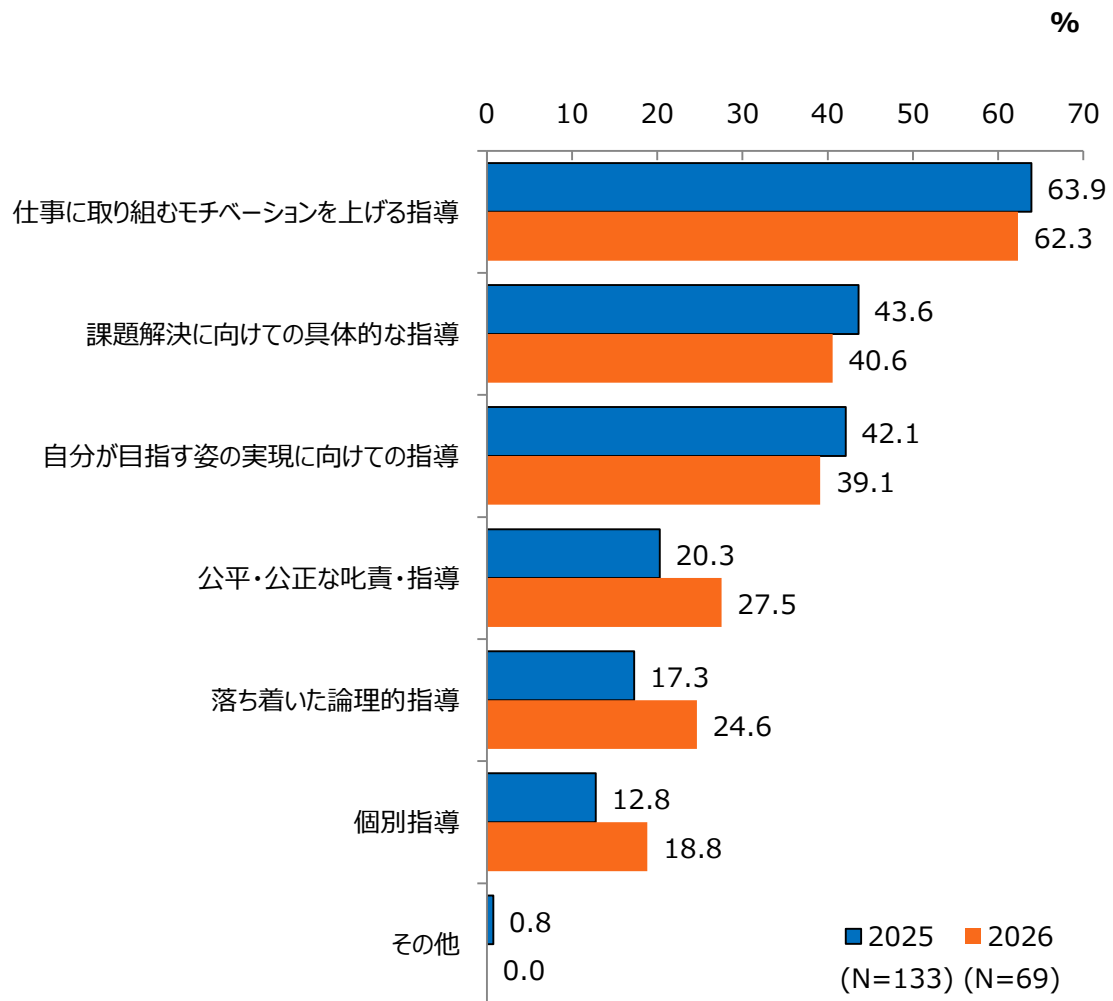
問15 どのような職場なら頑張ることができるか



問16 理想的な指導方法 (MA)

- ・理想的な指導方法について、最も多かった回答は「仕事に取り組むモチベーションを上げる指導」が62.3%で、次いで「課題解決に向けての具体的な指導」が40.6%、「自分が目指す姿の実現に向けての指導」が39.1%となっています。

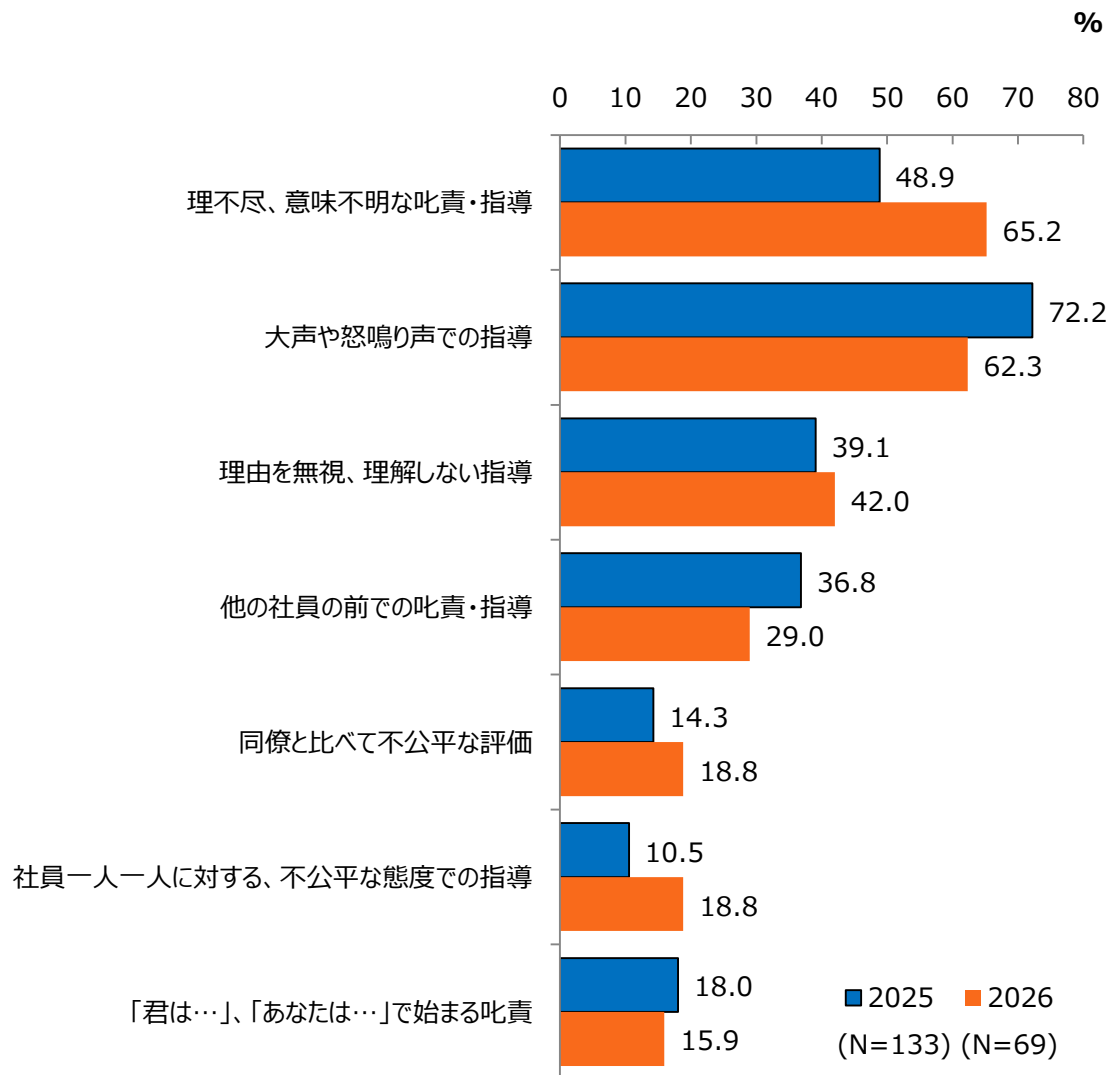
問16 理想的な指導方法



問17 不適切と感じる指導方法 (MA)

- ・ 不適切と感じる指導方法について、最も多かった回答は「理不尽、意味不明な叱責・指導」が65.2%で、次いで、「大声や怒鳴り声での指導」が62.3%、「理由を無視、理解しない指導」が42.0%となっています。

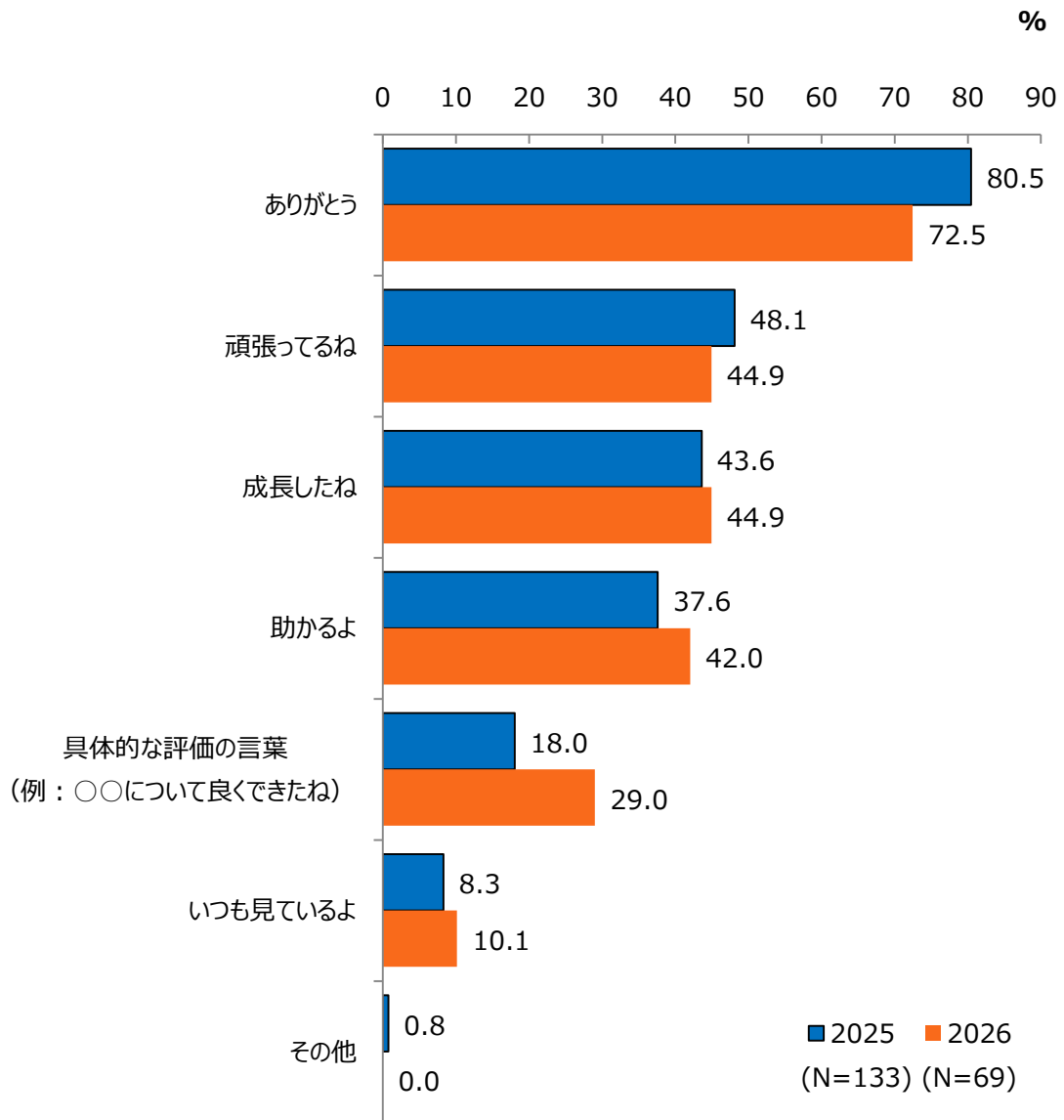
問17 不適切と感じる指導方法



問18 上司や先輩・同僚からかけてもらいたい言葉 (MA)

- ・上司や先輩・同僚からかけてもらいたい言葉について、最も多かった回答は「ありがとう」が 72.5%で、次いで「頑張ってるね」「成長したね」(同率) が 44.9%となっています。

問18 上司や先輩・同僚からかけてもらいたい言葉



問19 上司や先輩・同僚にやってほしくない行動 (MA)

- ・ 上司や先輩・同僚にやってほしくない行動について、最も多かった回答は「質問に対する無視」が91.3%で、次いで「無関心」が69.6%、「目線を合わせない会話」が39.1%となっています。

問19 上司や先輩・同僚にやってほしくない行動

